

開催期間
9月1日(木)～
11月30日(水)

百花

～まちを舞台に

—三島市を代表する文化施設と、文化の発展に尽くした2人の名誉市民①

佐野美術館



創立 50 周年を迎えた市民に愛される美術館

昭和 41 年、佐野美術館は初の名誉市民となった三島市出身の実業家・佐野隆一氏（当時 77 歳）によって設立されました。そこには、「三島の人たちがいつでも良いものを鑑賞できるように」「ふるさと三島の子どもたちが、美術品から新しい発見をして、立派に育つように」との願いが込められていました。

佐野美術館では、こうした佐野隆一翁の精神を受け継ぎ、さまざまな展覧会を開催しています。

渡邊妙子館長からコメントをいただきました！

～佐野隆一翁の志～

佐野翁は学生時代に友人数人と富士登山をしました。裾野から登り始め、しばらくすると「佐野！ 遅いぞ」と揶揄され、一行から遅れてびりでした。でも、自分の速度を守りながら自分のペースで頂上に着いたら一番早かったのです。「他人の言動に惑わされず、自分で立てた志を守り抜く。これが僕の生き方」と語っていました。



▲佐野隆一氏

みしまの文化百花繚乱登録プログラム@佐野美術館

Pick Up!

「横山大観 大気を描く」

とき 10月1日(土)～11月6日(日)午前10時～午後5時（入館受付は午後

4時30分まで）※木曜日休館、11月3日（木・祝）は開館

入館料 一般・大学生 1,000 円、小・中・高校生 500 円

問合せ 佐野美術館（☎ 975 - 7278）



みしまの文化

糸京 舌し

出会う秋～

みしまの文化百花繚乱とは…

市制施行 75 周年の節目を祝うため、9～11月の3カ月にわたって三島のまち全体を舞台に見立てて開催する、登録参加型の市民文化フェスティバルです。

問文化振興課 (983 - 2672)

—三島市を代表する文化施設と、文化の発展に尽くした2人の名誉市民②

大岡信ことば館

ことばの魅力を発信する、
新しいスタイルのミュージアム

三島市出身の詩人で名誉市民の大岡信氏は、「ことば」をととても大切にしている文学者です。

平成 21 年に三島駅北口にオープンした大岡信ことば館では、大岡氏の詩を始めとした「ことば」をテーマに、美術館とも文学館とも違う、新しいかたちの展示やイベントを開催し、訪れる人の感性を刺激しています。



▲大岡信氏

岩本圭司館長からコメントをいただきました！

時折、大岡さんの詩は難しいと耳にします。私も時に、いやしばしばそのように思います。おそらく彼の詩は、私たちが普段見慣れた情景に像を結びにくいのですね。常に実験的で、安定した結果を求めない大岡さんは白衣で日々実験室を歩き回る研究者みたいな人なのかも知れませぬね。

みしまの文化百花繚乱登録プログラム@大岡信ことば館 *Pick Up!*

「谷川俊太郎展 ・本当の事を言おうか・」

とき 9月22日(木・祝)～12月25日(日)午前10時～午後5時(初日のみ正午から、入館受付は午後4時30分まで) ※月曜日休館、10月10日(月・祝)は開館、10月11日(火)は休館

入館料 大人1,000円、大学生・高校生600円、小・中学生300円

問合せ 大岡信ことば館 (☎976 - 9160)

